

ミクロの世界の生き物たちへの対処法

日時：令和4年7月29日（金）10：00～12：00 場所：千葉大学医学部 3階第2講義室

講師：千葉大学医学部 野田 公俊 先生

参加者：23名



講師の野田先生

まずは全員自己紹介をしました

ミクロの世界の生物について学びました

質問もたくさんでした

質問です

桿菌のなかまでですね

細菌感染症への新しい対応は？

とてもいい質問ですね

みなさんに期待しています！

【受講生の感想】

- O-157やコレラ菌など、名前は知っているけど詳しく知らないものを紹介してもらい、より深く知りたかった。そして、今後自分はどのように細菌と向き合い、どう対応するかを学び直し、未加熱のものに気を付けたい。医者になりたいという思いがわき出てくるような講座だった。
- 私たちのすぐ近くには目には見えない細菌がいて、良いはたらきをしてくれるものも多いこと、また悪影響を及ぼすものには適切な対処法が必要であることがわかりました。病原菌には注意しながら、細菌と共存していくことが大切だと感じました。
- まず、ウイルスと細菌が全く別物ということにびっくりした。ノロウイルスみたいなとっても小さいものでも見られる人間の技術もすごいと思った。納豆・牛乳などの身近なことにも細菌がかかわっていた。
- これからも発見されていない細菌がでてくると思うのでどのように利用したり対策できるかを考えてみたいと思いました。
- 普段学校などでは触れることのない知識だったので、とても好奇心をかきたてられる内容でした。細胞などではアニメなどで見ることもありましたが、よりリアルで、人類の誕生するずっと前からいるのも衝撃でした。
- 菌による感染症は、死亡原因の1位なんだ、こわいなと思いました。でもほとんどの菌は自分たちの生活を豊かにできるいいものだから、少しはしょうがないのかなと思いました。
- 本来とても難しい内容の話を、イラストなどを用いてわかりやすく、ていねいに教えてくださり、ありがとうございました。目に見えない、ということで、身近にあるはずなのに、いまいち身近に感じることはできなかった細菌の存在をしっかりと感じる事ができました。また細菌＝悪いといったふわふわとした考えを改めることができました。
- 今回の講座を通じて細菌についてたくさんを知ることができました。今年はオンラインではなく、対面での実施だったので質問もできて勉強になりました。